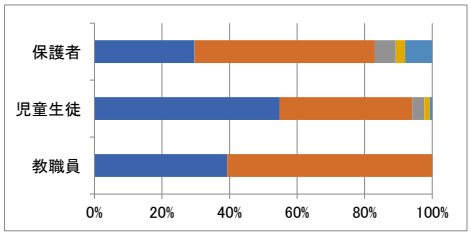
令和７年度　学　校　評　価

そう思う　どちらかといえば、そう思う　どちらかといえば、そう思わない　そう思わない　わからない

（１）主体的に考え行動する力を育む教育の推進

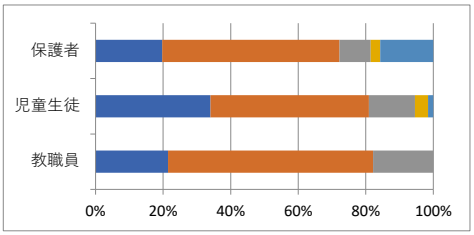
１豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努めていると思いますか。（感動・感謝、郷土愛、いのちを大切にする心、こどもの体力向上、基本的な生活習慣など）



２自ら学びに向かう力を育む教育の推進

学校は、こどもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。



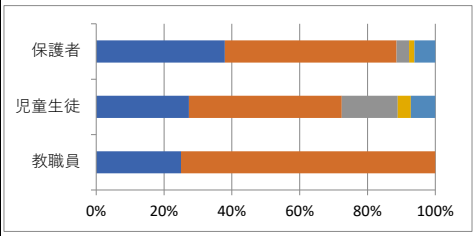
考察

○【豊かな心と健やかな体を育む教育の推進】生徒・保護者・教職員、肯定的に捉えている割合が昨年同様８割以上である。今後はさらに保護者からも見えるような体力作りの行事を行っていきたい。
○【自ら学びに向かう力を育む教育の推進】教職員は、8割以上が充実していると捉えている。児童生徒も8割以上に上がっている。教職員はさらに授業を改善しようと意識が見られる。

（１）主体的に考え行動する力を育む教育の推進

３社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進

学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりすることもの育成に、取り組んでいると思いますか。（児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイストライ（中学校）など）



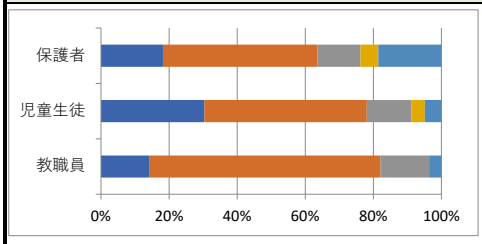
考察

○【社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進】教職員と保護者は、高割合で肯定的にとらえている。児童生徒はあまり地域活動に参加できていないと感じているが、部活動やクラブで難しい部分がある。ナイストライなど学校主体の行事は充実しているが、地域の方々が参加する行事が少ないことが課題である。PTAや地域と連携して地域密着の行事を考える必要がある。

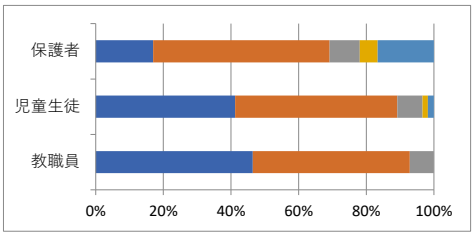
（２）こども一人一人を尊重した教育の推進

４５個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

学校は、こどもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。



学校は、こどもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていると思いますか。



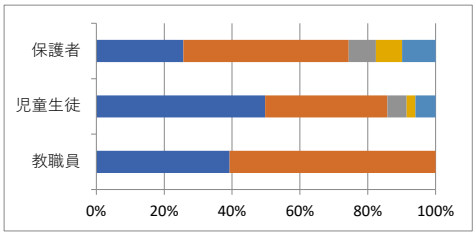
考察

○【個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実】個別最適な学びは、教職員・生徒が8割近く自ら学ぶことができていると実感している。さらに良くするために、教師主導の授業だけではなく、タブレットを有効に使い、児童生徒が中心にいる授業展開を今後考えていく必要がある。授業改善へ向け講師招聘や他校の授業見学も積極的に行っていきたい。
協働的な学びは、班活動やタブレットを使い、発表することにより他者と話す機会が増えていることを実感している。今後は異年齢や学校を越える交流を増やしていく必要がある。

（２）こども一人一人を尊重した教育の推進

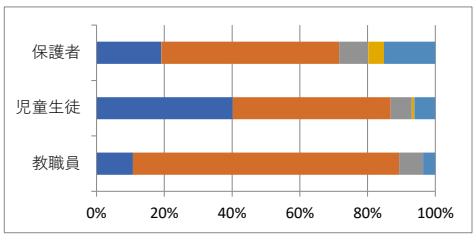
６特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実

学校には、こどもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。



７インクルーシブ教育の推進

学校では、こどもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。



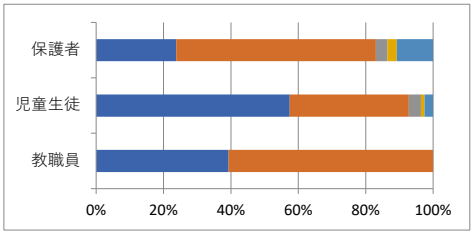
考察

●【特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実】教職員、児童生徒は8割近く肯定的にとらえている。保護者への周知をするために学校、学級の掲示物や学級通信などを使い、温かな雰囲気づくりをしていく必要がある。
○【インクルーシブ教育の推進】通常学級の受け入れはスムーズに行われ、昨年度より意識が全体的に高まっている。さらに通常学級の担任と特別支援学級の担任との連絡・相談を密にできている。

（3）最適な教育環境の整備

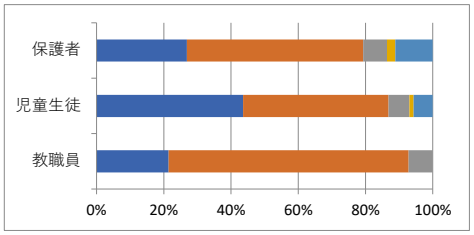
8 安全・安心な園づくりの推進

学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育（生活・交通・防災など）に取り組んでいると思いますか。



9 地域や家庭と連携した教育環境の整備

学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。

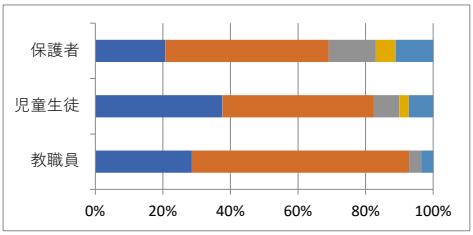


○【安全・安心な園づくりの推進】生徒が日頃から安全に対する取り組みを真剣にしていることが結果からもわかる。保護者への啓発の意味からも保護者参加の安全教室を開くなどの取り組みを計画する必要がある。
○【地域や家庭と連携した教育環境の整備】地域に参加する行事が少なくなってきているが、強歩会は多くの保護者の協力のもと事故もなく行うことができた。他の行事や授業でも保護者や地域が参加できるよう検討していきたい。

（4）こどものいのちと権利の擁護

10 こどもの最善の利益を守る環境づくり

学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。

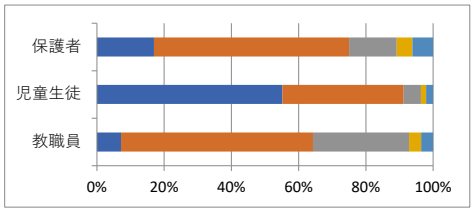


○【こどもの最善の利益を守る環境づくり】生徒や教職員は、肯定的に捉えている割合が8割以上である。開かれた学校という保護者の認識を高めるためにも授業参観や学級懇談会や面談等で保護者との距離を縮める取り組みを行っていくことが今後大切である。

独自項目

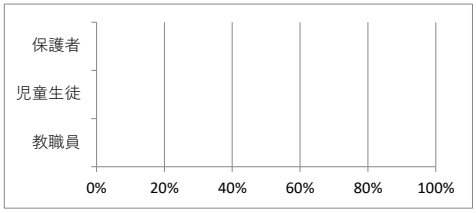
独自項目1

あなたは、地域や学校であいさつができていると思いますか。



独自項目2

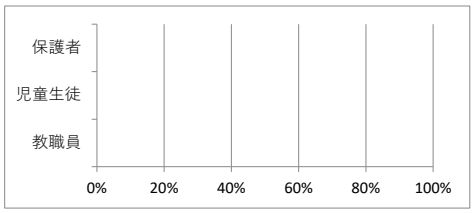
0



●【あいさつ】児童生徒は挨拶ができていると思っているが、保護者や教職員はまだ不十分であると感じている。相手に伝わる挨拶など挨拶の仕方などを生徒会を中心に考えていくことが大切である。また、部活動生は挨拶がよくできているので、それを学校全体に広めていく活動も考えていきたい。

独自項目3

0



来　年　度　の　具　体　的　な　取　組　に　つ　い　て

○教育目標・方針については、本年度「自分を大切にし、他の人の大切さを認める」人づくりをテーマに1年間取り組んできた。来年度もこのテーマを軸に人づくりに力を入れていきたい。また、学校だけでは難しいので、PTAや地域にも協力をお願いし、全体で見ていくという雰囲気作りを行っていきたい。そのために様々な方法で保護者、地域に発信を行っていきたい。
○校内研修を中心に、生徒の実態や学力状況を分析し、指導支援の工夫や改善に努める。来年度は特別活動の研究授業発表があるので、外部からの講師を招聘したり、他の学校の取り組みを取り入れたり、いろいろな視点から特別活動を充実したものにする取り組みたい。全体で進めることで教職員全体の連携の強化を図っていきたい。
○水害の復旧もまだ終わっていない状況なので、保護者や地域と連携していきたい。

小　中　学　校　関　係　者　評　価

○保護者と子供のかかわり方もそれぞれの家庭の形があると思いますが、少しでも昔のPTAのように皆で何らかの取り組みができたら良いのになと思いました。
○子どもや保護者が日頃から相談しやすい環境づくりが丁寧に整えられていることを感じました。
○登校時に生徒が自主的に車を止め、小学生の安全な横断を見守る姿を目にし、先生方が日常的に築いてこられた子どもとの良好な関係性と、その成果を強く感じました。
○自然災害からの復旧には多くの方々の助けと時間がかかることを身をもって体験できたことは、西山中生徒の強みになると思います。これを機にボランティア、防災への意識が高まる指導に取り組んでいただけたら幸いです。